

平成 22 年度北海道 PCB 廃棄物処理施設総合防災訓練の実施結果について

1. 実施日時 平成 22 年 9 月 30 日 (木) 10 時 00 分～11 時 15 分 (天候：晴れ)

2. 場 所 北海道 PCB 廃棄物処理施設 処理棟

3. 参加人員・装備

- ・公設消防隊： 隊員 45 名
 車両 : 6 台 (消防車 4、救急車 1、機材運搬用トラック 1)
 除染テント : 1 張
 化学防護服 : 3 着
- ・日本環境安全事業(株)(以下「JESCO」) 27 名
- ・室蘭環境プラントサービス(株)(以下「MEPS」) 98 名
- 合計参加者 170 名**

4. 訓練の目的

今回の防災訓練は、JESCO 北海道事業所が平成 20 年 5 月に本格操業開始以来 3 回目の総合防災訓練である。JESCO と運転会社の MEPS 及び室蘭市消防本部との連携のもと、火災発生時の現場での基本行動、役割分担、自衛防災組織活動、関係機関との連携等、総合的な防災活動が的確に実施、確認できることを目的とした。

5. 訓練概要

今回の訓練は二部構成とした。第一部は①地震発生(震度 4 程度)、②火災発生(当事業所で PCB の分解に使用している SD (金属トリウム) 室から出火)、③負傷者発生(管理バル 3 コンテナ解体エリアからの避難中作業員 1 名が転倒負傷、防護服が破れ PCB 汚染のおそれあり)、④ PCB 汚染者発生(管理バル 3 大型解体エリアからの避難中防護服が破れ汚染のおそれあり)、という想定で実施した。

第二部は①地震発生(震度 4 程度)、②火災発生(4 階ホリ室より出火)、③消火器での初期消火が不可、④付近の屋内消火栓からの放水消火が必要、という想定で総合防災訓練として初めて放水訓練を実施した。

その結果、予定していた下記訓練項目を JESCO、MEPS、室蘭市消防本部の連携のもと、滞りなく消化し、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認できた。

[訓練項目]

- (1) 火災発生時の連絡・通報
- (2) 自衛防災隊設置
- (3) 消火活動(ライフェム装着による初期消火、粉末消火設備起動)

- (4) 避難、誘導(見学者含む)
- (5) 負傷者救助(公設消防による PCB 汚染のある負傷者の救出及び除染並びに救急搬送)
- (6) 関係機関への通報・連絡
- (7) 地震発生時の設備点検
- (8) 屋内消火栓からの放水消火訓練

6. 主な反省事項等

(1) JESCO

- ① トランシーバーの活用により、連絡・報告がスムーズに実施できた。
- ② 火災警報吹鳴後の全館放送の回数を増やし、所員や来館者へタイムリーに情報提供した方がよい。

(2) MEPS

- ① 負傷者を搬送してから公設消防隊が到着するまでの間、実際の対応に合わせて、負傷者をできるだけ安全な場所に移動させた方がよい。

(3) 室蘭市消防本部

- ① 昨年と同様の想定事象であったが、昨年の反省点が改善され、防災組織内の連携の強化が図られていた。
- ② 実際の災害発生時は、情報の錯綜があることから、各担当の責任者が事態を確実に掌握することが重要となる。今後も基本訓練を含め、訓練を継続していくことが必要である。

以上

・ 訓練実績時刻

平成22年度総合防災訓練時間経過(計画・実績)

| 時刻 | 指示・報告・連絡者等 | 事象 |
|-----------|-----------------|---|
| 実績 | 計画 | |
| | 第一部 | |
| 10:00 | 10:00頃 | 地震発生(震度4程度) |
| 10:00 | 10:01 全館放送① | 「地震発生」と各エリアの設備点検を放送 |
| | 10:07 中制→副所長 | 「設備点検結果、異常無し」報告 |
| 10:08 | 10:08 SD搬入室→中制 | 「SD室でSD漏洩発見、MEPSで拭き取り作業を開始する」連絡 |
| 10:10 | 10:10 中制 | SD室で火災発生、中制火災報知器吹鳴(ITVで発煙確認) ①公設消防へ火災通報②JE所長、ME社長へ連絡③ライフゼム装着による現場確認を要請 |
| 10:12 | 10:15 全館放送② | ①全職員、見学者の避難②自衛防災隊の設置③設備の緊急停止 |
| 10:17 | 全館放送③ | 自衛防災隊設置完了 |
| 10:18 | 10:18 本部長→連絡班 | 対外報告第1報を指示 |
| 10:19 | MEPS・各課→防災隊長 | 避難状況 報告 |
| | | MEPS 98名出社中 88名避難完了(他は保安要員等)、 JESCO 27名出社中 27名避難完了、一般見学者なし |
| | SD搬入室→中制 | SD搬入室の火災確認と初期消火失敗を報告 |
| | 指揮本部長→中制 | 中制へ粉末消火設備稼働放送を指示 |
| | 全館放送④ | SD室での粉末消火設備稼働に伴い搬入室付近からの退避 |
| 10:18 | 指揮本部長→消防隊長 | 粉末消火設備稼働を指示 |
| 10:19 | 消防隊 | 粉末消火設備稼働 |
| 10:20 | 負傷者及び汚染者発生 | コンテナ解体室でAさんが負傷、防護服が破れPCB汚染の疑いあり(歩行困難)、大型解体エリアでBさんが汚染疑い |
| 10:21 | 中制 | ①公設消防へ救急車と除染を要請②消防隊長(対策・指揮本部同時)へ救出を要請 |
| 10:23 | 負傷者救助 | 救護班(MEPS)による救助 |
| 10:26 | 10:30 公設消防到着 | 指揮権委譲、状況説明 |
| 10:39 | 公設消防 | 公設消防ライフゼム装着による鎮火確認 |
| 10:43 | 10:45 公設消防→防災隊長 | 鎮火確認を連絡 |
| | 公設消防 | 除染テント設置完了 |
| | 救急車到着 | |
| 10:44 | 公設消防 | 汚染疑いBさん除染救急車へ搬送 |
| | 公設消防 | 化学防護服装備による負傷者Aさん搬出 |
| 10:50 | 公設消防 | 負傷者Aさん除染救急車へ搬送 |
| 10:52 | 公設消防→防災隊長 | 災害の収束と指揮権返還を連絡 |
| 10:53 | 指揮本部長→対策本部 | 設備確認 異常なし 報告 |
| 10:54 | 自衛防災隊長 | 自衛防災隊の解散と対外報告第2報を指示 |
| 10:57 | 11:00 全館放送⑤ | 第一部の防災訓練終了と引き続き第二部の実施を放送 |
| | 第二部 | |
| 10:57 | 11:00 全館放送① | 「4階ホワイ-室より火災発生」 |
| | 指揮本部長→消防隊長 | 消火班の出動屋内消火栓からの消火を指示 |
| 10:58 | 消火班出動 | |
| 11:01 | 11:05 消火班 | 放水消火開始 |
| 11:03 | 消火班長→消防隊長 | 鎮火確認を報告 |
| 11:04 | 11:10 全館放送② | 4階ホワイ-室の火災鎮火と第二部の防災訓練終了を放送 |
| 11:05 | 全館放送③ | 第一部及び第二部全ての訓練終了を放送 |
| | | |
| | 来賓→参加者 | 胆振支庁環境生活課 山田主幹殿、室蘭市消防本部 小川署長殿からの講評 |
| 11:15終了 | 所長挨拶 | 訓練終了と来賓への謝辞 |

・ 訓練状況写真

第一部 地震により SD 搬入室からの出火想定訓練



中央制御室から全員避難の全館放送



自衛防災隊設置状況



ライフゼム装着による初期消火(模擬)



自衛防災隊設置及び避難状況



消防車到着



除染テント設置状況



化学防護服を装着した公設消防隊



公設消防隊による負傷者救出活動



負傷者の除染作業



救急車での負傷者搬送

第二部 4階ホコリ室からの出火想定、屋内消火栓からの放水訓練



消防ホースの設置状況



消火栓元弁の開放作業



放水消火訓練



拡散放水消火訓練



室蘭市消防署長によるご講評

